

2023 年度事業計画書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第 4 条第 1 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、制作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行う。

2023 年度は、財団附属の創造集団「札幌座」をもとに、新作 3 作品と再演 2 作品の実施を予定しているほか、研修生を積極的に募集し、演劇制作を通じた人材育成に取り組む。

① 【再演】札幌座 Pit「葉桜」

作 者：岸田國士

演 出：斎藤歩(札幌座)

出 演：磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)

公演日：4 月 7 日～9 日(4 回)

会 場：シアターZOO(札幌)

② 【新作】札幌座第 60 回公演「キャッシュ・オン・デリバリー」(仮題)

作 者：マイケル・クーニー

演 出：納谷真大(ELEVEN NINES)

出 演：磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、明隼人(ELEVEN NINES)、
蓑輪直人(フリー)、山野久治ほか

公演日：7 月 6 日～12 日(10 回)

会 場：シアターZOO(札幌)

③ 【再演】札幌座「烈々風 玉葱畝る 夏至白夜 沁みる挽歌に 咽ぶ匂ひよ」 ※札幌演劇シーズン 2023-夏参加作 作・演出：斎藤歩(札幌座)

出 演：斎藤歩(札幌座)、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
常本亜実(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、梅原たくと(イレブンナイン)

公演日：8 月 5 日～12 日(11 回)

会 場：シアターZOO(札幌)

④ 【新作】札幌座第 61 回公演「群来、春告魚^{はるつげうお}と蜃気楼」

作・演出:清水友陽(劇団清水企画)

出 演:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
大森弥子(Takako Classical Ballet)

公演日:10月26日～31日(8回)

会 場:シアターZOO(札幌)

⑤ 【新作】札幌座第 62 回公演「カフカ経由 シスカ行き Bound for Sisca via Kafka」

作・演出:斎藤歩(札幌座)

人形製作:沢則行(フリー)

出 演:斎藤歩(札幌座)、沢則行(フリー)、田川陽香(ひとみ座)、縣梨恵(トランク機械シアター)

公演日:12月1日～6日(8回)

会 場:シアターZOO(札幌)

⑥ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行う(通年)。

講師:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

(2) 演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部や演劇活動者、幅広い年齢層と地域を対象に、実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行う。

① 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

小中高等学校の演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行う。このほか、教育の現場以外にも、社会福祉協議会等でのコミュニケーションワークショップ事業の実施を行う。

[実施校ならびに実施団体]

札幌市立厚別高等学校、立命館慶祥中学校、北星学園女子中学高等学校、紋別社会福祉協議会など

[講師]

清水友陽(劇団清水企画)、磯貝圭子(札幌座)、西田薫(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、常本亜実(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、前田透(劇団木製ボーイジャー14号)、戸澤亮(フリー)ほか

本事業のうち、(1)の②④⑤は「文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)」(日本芸術文化振興会)からの補助金を申請中。

(2)の①の一部は、文化庁「文化芸術による子供の育成推進事業(芸術家の派遣事業)」と「文化芸術による子供育成推進事業ーコミュニケーション能力向上事業ー〈学校方式〉」は補助金を申請しており、「文化芸術による子供の総合育成推進事業(NPO 法人等提案型)」は今後申請予定。

2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業 定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOO の運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は、運営責任者が運営者の助けを得て行っている。

運営責任者: 清水友陽(劇団清水企画/北海道演劇財団芸術監督)

運営者: 斎藤歩(北海道演劇財団理事長)、木村典子(北海道演劇財団プロデューサー)、
磯貝圭子(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)

扇谷記念スタジオ・シアターZOO を、①道外の第一級の専門家と協働した上質でオーソドックスな作品創造と上演、②親子で観劇できる良質な作品創造、③海外の優れた団体との交流、④自立した演劇人の育成、⑤若い世代を専門家のいる劇場に招く取り組み、⑥学校現場や地域の集まりに芸術家を派遣、これらの柱に沿った長期的な展望に立った以下の事業を行う。

① シアターZOO 企画公演

精力的に活動する道内外・海外の劇団やアーティストと協力して公演を行うほか、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行う。また、これまで取り組んできた「劇のたまご」シリーズを継続し、地域の演劇文化の向上を目指す。

5月	劇のたまご「オズの魔法使い」(札幌)
6月	若葉町ウォーフ「森の直前の夜」(横浜)
9月	イトウワカナ×前田透「流浪と轍のポルカ」(大阪・札幌)
12月	朗読「星の王子さま」(東京)
1月	札幌座「月が水面に忍び来るがごとく」(仮題)(札幌・韓国)

② シアターZOO 提携公演

札幌を代表する中堅劇団(劇団清水企画、風蝕異人街)や若手劇団(ポケット企画)、プロデュース団体(ラボチ)、そして道外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、演劇文化の向上を目指す。

5月	SPR 実行委員会「INDEPENDENT:SPR23」(大阪)
9月	ラボチプロデュース「新作」(札幌)
10月	ポケット企画「まよい」(仮題)(札幌)
11月	風蝕異人街「毛皮を着たヴィーナス」(札幌)
12月	劇団こふく劇場「ロマンス」(宮崎)
	万博設計「新作」(大阪)
3月	劇団清水企画「新作」(札幌)

③ 札幌劇場祭(TGR)参加公演

[参加団体] ラボチ、風蝕異人街、劇団こふく劇場ほか

[時期] 11月3日～12月3日(予定)

(2) 民間劇場「北八劇場」への協力

2024年に新たに札幌市内に開館する民間劇場(北八劇場)と協力体制を図り、オープンに向けて演劇等の創造活動の促進支援を行う。

本事業のうち、①は文化芸術振興費補助金「劇場・音楽堂機能強化推進事業」(文化庁)の補助金を申請中。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指す。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタ

ップの派遣、事業の運営および管理を行い、1作品を1カ所で1公演を行う予定。また、当財団が有する地域ネットワークを活用し、札幌市内で活動する ELEVEN NINES の「ひかりごけ」の道内地域での公演に協力し、地域社会における文化芸術の活性化を図る。

① 劇のたまご「オズの魔法使い」清田公演

作・演出:清水友陽(劇団清水企画)

出 演:磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、常本亜実(札幌座)、
納谷真大(ELEVEN NINES)、菊地颯平(ELEVEN NINES)、沢井星香(ELEVEN NINES)、
横尾寛(ヨコオ制作所)

公演日:未定

会 場:清田区民センター

② ELEVEN NINES「ひかりごけ」

作・演出:納谷真大(ELEVEN NINES)

出 演:納谷真大(ELEVEN NINES)、菊地颯平(ELEVEN NINES)、斎藤歩(札幌座)、泉陽二(札幌座)

公演地:4か所(富良野・中標津・江別・北見)

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」を年6～8回開催、年間250名の参加者を見込む。

また、ボランティア組織(「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」)などと協力して札幌市内および近郊で演劇の普及活動を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援するとともに、「札幌演劇シーズン(札幌演劇シーズン実行委員会)」の企画立案・運営サポートすることで、市民活動の活性化を図るとともに、地域の演劇関係者の活動を促進する。

(2) 広報紙の発行

内容を充実させ、より広報活動に使用できるものとする。

[発行回数] 年2回(4月、10月)

[発行枚数] 各500部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOとスタジオ1とスタジオ2を主に道内の劇団や文化団体に貸与する。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託する。

[受託団体] 特定非営利活動法人札幌座くらぶ、株式会社 tatt